

委託事業実施内容報告書
平成27年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業
【地域日本語教育実践プログラム(B)】
実施内容報告書

受託団体名 可児ミッション

1. 事業名称

外国人と日本人が支えあいながら子育てのしやすい地域づくりを進めるための体制整備事業

2. 事業の目的

外国人生活者が子育てに必要な日本語を習得し、また地域資源に積極的に関わることを通して、日本人生活者と共に、子育てのしやすい地域づくりを進める。そのために複数の市町の行政、国際交流協会、地域の支援団体と連携し、日本語教育の体制整備を推進することを本事業の目的とする。

3. 事業内容の概要

取組1では、子育てに必要な日本語の学習および地域の日本人生活者との関係構築のための体制整備に関する検討会議を行い、継続的な施策・サービスに繋げるネットワークを構築する。
取組2として、子育て日本語教室が少ない4地域に教室を立ち上げ、学校や行政がよく用いる子育てに関する日本語の語彙や表現を学ぶ機会を設ける。定住外国人に地域行政サービス情報を分かりやすく提供し、日本語でのコミュニケーション能力を身に付ける。
取組3として、日本語教室に通わず、地域社会から孤立を深める外国人労働者及びその家族に対し、行政担当者を巻き込み、自分たちの暮らす地域の歴史、文化施設や行政サービスについて知ることで親しみを感じ、親子で楽しく生活できる地域であることを知らせ、日本語教室や支援団体に繋げることを目指す。
最後に、本事業の成果普及のために、取組4として、シンポジウムを開催し、当事業を行うに至った地域で孤立する外国人住民の困難と来日の背景、それに対する本事業での具体的な取組を発信することで、日本で暮らす外国人の思いを地域住民や学校・行政関係者と共有し、日本語習得機会の拡充の必要性和、互いに協力しあって生きる地域にしていくための課題を行政関係者と共有する。

以上、4つの取組を通じて、これまで培った行政との連携や、散在地域での外国人住民の掘り起しやネットワークを活用し、外国人住民が集まりやすい場にて活動を展開するとともに、行政にも取組に参加してもらい、行政とともに継続的な日本語教育支援活動を行えるよう、課題把握・連携協力体制を整備していく。

4. 事業の実施体制について

可児市、美濃加茂市、坂祝町、
岐阜市、瑞穂市及びその周辺の地域の施設

5. 運営委員会の開催について

【運営委員】

1	横山ひろ子	(各務原市民)
2	各務眞弓	可児市国際交流協会
3	渡辺幸子	可児市民
4	山田千鶴	岐阜県加茂高校
5	松居勲	大垣市民
6	山田拓路	可児ミッション
7	アビトン・フェルナンド・ママリル	可児ミッション
8	ジェビー・ダト・ラマダ	可児ミッション
9	赤坂唯	可児ミッション
10		

【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題及び検討内容
1	2015/7/5	2時間	可児聖三一教会	横山ひろ子、各務眞弓、山田千鶴、松居勲、山田拓路、アビトン・フェルナンド、赤坂唯	事業趣旨説明、2015年度文化庁事業の内容について検討
2	2015/10/31	2時間	可児聖三一教会	横山ひろ子、各務眞弓、松居勲、渡辺幸子、山田拓路、アビトン・フェルナンド、ジェビー・ラマダ、赤坂唯	子育て日本語クラスについての報告、子育て日本語クラス、町を知ろうツアー、シンポジウムについて、時期や開催場所、内容の検討

3	2016/1/24	2時間	可児聖三一教会	横山ひろ子、各務真弓、山田千鶴、渡辺幸子、山田拓路、ジェビーラマダ、赤坂唯	子育て日本語クラスの経過報告、他プログラムの進捗状況報告 町を知ろうツアー、シンポジウム内容検討
4	2016/3/20	2時間	可児聖三一教会	横山ひろ子、松居勲、山田千鶴、渡辺幸子、山田拓路、ジェビーラマダ、赤坂唯	2015年度文化庁事業報告、評価

6. 取組についての報告

取組1：外国人と日本人が支えあいながら子育てのしやすい地域づくりを進めるための体制整備事業

(1)体制整備に向けた取組の目標

子育てに必要な日本語の学習機会および地域の日本人生活者との関係構築のための体制整備に関する検討会議

(2)取組内容

- ・子育てに必要な日本語が学べる教室がない4つの市町と周辺市町村を交え、岐阜市と可児市を会場にそれぞれに近い市町の外国人コミュニティ代表者が集まり、行政関係や国際交流協会・地域団体などの人と、各市町の外国人コミュニティの代表者が現状について共有する。
- ・外国人住民側の不安や生活に関する課題にどう向き合っていくかを考えるために、当事者である外国人コミュニティのリーダーを招き、地域で生活する上で課題となる日本語使用場面の問題についてヒアリングを行う。
- ・外国人コミュニティを支援している地域の他団体と外国人からの相談内容や、異文化に対して配慮が必要となる問題に関する留意点を共有する。
- ・外国人コミュニティ側にも行政担当者から公共の施設や、地域のコミュニティが活用できるサービス等を案内いただく

(3)対象者

・各市関連部局および教育委員会担当者、岐阜県国際交流センター担当者、各市役所地域振興課等担当者
外国人コミュニティ代表者、外国人支援者等

(4)参加者の総数 12 人(延べ人数ではなく、受講した人数を記載すること。)

そのうちの日本語学習者数 0 人

【出身・国籍別内訳】

中国	人	インドネシア	人	
韓国	人	タイ	人	
ブラジル	人	ペルー	人	
ベトナム	人	フィリピン	2人	
ネパール	人	日本	10人	

(5) 開催時間数(回数) 8 時間 (全 4 回)

(6) 活動の具体的内容

回数	開催日時	時間数	場所	参加者数	取組のテーマ	授業概要	指導者名	補助者名
1	2015/7/26 17:00～19:00	2	可児聖三一教会	3	検討会議(可児)1	可児市、美濃加茂市、坂祝町における外国人生活者のニーズ調査、各関係機関に寄せられる相談、それに対する今後の対応、今後の課題を検討。	織間里美(可児市役所市民部人づくり課)、ホサカケンジ、ホセファサル/バドル、山田拓路、アビトン・フェルナンド・ママリル、ジェビー・ラマダ、赤坂唯	
2	2015/8/1 15:00～17:00	2	岐阜聖パウロ教会	5	検討会議(岐阜)1	岐阜市、瑞穂市、大垣市における外国人生活者のニーズの共有、各関係機関に寄せられる相談とそれに対する対応の共有、今後の課題について意見交換。	谷村三奈(瑞穂市教育委員会学校教育課)、草野清二(大垣市まちづくり推進課多文化共生係)、松原拓位(大垣市まちづくり推進課多文化共生係)、熊谷康宏(大垣国際交流協会)、梶浦良子(NPO法人キッズスクエア瑞穂)山田拓路、アビトン・フェルナンド・ママリル、ジェビー・ラマダ、赤坂唯	
3	2016/2/13 14:00～16:00	2	岐阜聖パウロ教会	4	検討会議(岐阜)2	前回共有した課題について改善したこと、取り組んだ内容について共有、岐阜市、瑞穂市、大垣市における外国人生活者新たなニーズの共有、各関係機関が現在行っている、またはこれから予定している取組について発表。	谷村三奈(瑞穂市教育委員会学校教育課)、今井裕正(岐阜市国際交流協会)熊谷康宏(大垣国際交流協会)、梶浦良子(NPO法人キッズスクエア瑞穂)、山田拓路、ジェビー・ラマダ、赤坂唯	

4	2016/3/15 16:00～18:00	2	可児聖三一教会	4	検討会議(可児)2	可児市、美濃加茂市における外国人 のニーズ調査の共有、各関係機関の 取組発表、今後の課題について地域 としての取組について検討	武田由美(美濃加 茂国際交流協 会)、近藤利恵 (可児市国際交流 協会)、山下啓子 (今渡北小学 校)、滝川直樹 (土田小学校山田 拓路、赤坂唯	
5								
6								
7								
8								
9								
10								

(7) 特徴的な活動風景(2～3回分)

活動例①

【第1回 2016年7月26日】

可児市に住む外国人生活者(来日したばかりの者と、20年近く住んでいる者)を招き、実際に生活の中で困っていることについてお話頂いた。また、日本語の勉強をしたことがあるか、したいと思うが自分にあった教室を見つけるのが難しいため続かない、などの意見も上がり、それに対する対策を考えた。
可児市役所での外国人に対する取組やサービスなども伺った。

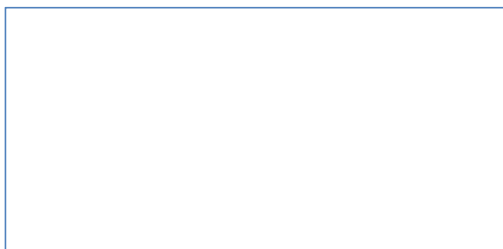


活動例②

【第3回 2016年2月13日】

各機関にて行われている取組について共有。各地域で行われている日本語教室の場所や日時、参加対象などについて共有し、当団体が行ってきた取組2子育て日本語クラス(瑞穂・大垣)にかよってきていた受講者が次に通うことの出来る日本語教室について模索した。

また、8月の前回の会議を経て、この半年で起こった変化についても共有した。ファミリー・サポートセンターには子育て日本語クラスにお越しいただいた事で、利用申し込みをして4月から利用し始めたいという外国人が数名いることが分かった。大垣国際交流協会では、前回の会議で当団体の文化庁事業について情報を提供したことも関係し、来年度の申請をしたことが分かった。受託され日本語教室を開くようであれば当団体の受講者も来年度はそちらにいけるよう広報したいという意見があがった。



(8) 目標の達成状況・成果

各地域の外国人支援者たちにお越しいただき、良い連携関係を築ききっかけとなった。

各機関で行われている支援内容について共有することができ、それぞれの対象者が他の機関も利用できるようにあなればより住みやすい町になるであろう。今回知り得た情報を今後多くの外国人に伝え、また引き続き各機関と連携していくことでよいまちづくりをしていけると感じた。

外国人のニーズも今一度把握できたため、外国人の住みやすいまちづくりをしていかなければいけないことをより強く意識することが出来た。

(9) 今後の改善点について

会議出席自体が難しい市町役所もあった。そういった地域こそ、外国人に対するサポートが手薄になっていることが多いため、まずは会議に出席していただけるよう努力すべきだったが、叶わなかった。

町づくりをしていくためには、市役所などの協力も必要なため、参加して頂けるよう何度もお誘いをしたり、事業の報告などを通して、意識を少しずつ変えて頂く必要があると感じた。

取組2:子育て日本語クラス

(1)体制整備に向けた取組の目標

子育て日本語教室がない4地域で、学校や行政がよく用いる子育ての日本語の語彙や表現を学ぶ教室を設置し、定住外国人に地域行政サービス情報を分かりやすく提供し、日本語でのコミュニケーション能力を身に付ける。また、教室での座学のみではなく、行動体験中心の教室活動に支援者とともに取組み、地域住民との協働の中で言葉を学ぶことを通じて、地域の日本人住民と日本語でコミュニケーションする機会を提供するとともに、自国の文化を日本語で伝える体験を通して学習動機を高める。

(2)取組内容

「子育て」をテーマとした日本語クラスを、3箇所の市で開催。

開催場所は瑞穂市、大垣市、可児市の3箇所で、その周辺の市町に住む人も参加できるように参加者が通しやすい場所を選んで開講した。

子育て中の保護者やその家族を対象とし、子育てをする上で必要となる日本語について学んだ。大垣市のクラスでは、会話を中心とし、あらゆる場面を想定し、日本人と会話するときに使う日本語を話したり、自分の夢や悩みを日本語で話しながら、単語を覚えていく授業を行った。

可児市の教室では、幼稚園児を持つ親を対象に、学校への休みの連絡の仕方や日本人から日本語で教わる日本のお弁当作りや餅つきなどに挑戦し、文化に親しむとともに、地域の人との交流を図った。また、市役所に通訳者の派遣を依頼し、マイナンバーの説明会を行ったり、警察による夜間の運転の際の交通安全教室を行った。地域の小学校の多文化共生係の教員を招き、受講者からの質問に答えていただいたり、小学校でのルールについて指導頂いた。

瑞穂市のクラスでは行動体験中心の授業を多く行い、教室内で単語や訪ね方を練習した後、実際に薬局に出かけ薬を買う真似を店員としてみたり、小学校の教頭先生を招いて、小学校で必要となる日本語を学んだ。災害時に送られるメールの登録の仕方、読み方を学んだり、学校への質問などを通訳を介しながら行った。

瑞穂市では、県内の剣詩舞グループに協力いただき、文化交流を行った。日本等やセンスを使った舞を披露いただき、侍や武士など日本の歴史について詳しく説明いただいた。受講者からは、母国フィリピンの伝統的なダンスを披露した。その後、茶道体験も行った。

(3)対象者

瑞穂市、大垣市、可児市、美濃加茂市、坂祝町、岐阜市およびその周辺に住む外国人

(4)参加者の総数 120 人(延べ人数ではなく、受講した人数を記載すること。)

そのうちの日本語学習者数 110 人

【出身・国籍別内訳】

中国	人	インドネシア	人	
韓国	人	タイ	人	
ブラジル	人	ペルー	人	
ベトナム	人	フィリピン	110人	
ネパール	人	日本	10人	

(5) 開催時間数(回数) 71.5 時間 (全 34 回)

(6) 取組の具体的内容

回数	開催日時	時間数	場所	参加者数	取組のテーマ	授業概要	指導者名	補助者名
1	2015/9/6 13:00～15:00	2時間	大垣カトリック教会	8	オリエンテーション	コースの説明。自己紹介。生活の中での困りごとを聞いたり、知りたい日本語の場面など授業の内容を考えた。	加藤友紀、赤坂唯	ジェビー・ラマダ
2	2015/9/6 13:00～15:00	2時間	レポート可児	16	オリエンテーション	自己紹介。初級者は例文に沿って自己紹介、中上級者は自分の趣味なども日本語で伝え、レベルチェックを図った。	西部愛美、山田拓路	アビトン・フェルナンド
3	2015/9/13 13:00～15:00	2時間	大垣カトリック教会	3	病院	救急車の呼び方の練習。問診票にある語彙の学習。症状の伝え方の練習。実際に病院に行って困ったことなどを聞き出して練習した。	加藤友紀、赤坂唯	ジェビー・ラマダ
4	2015/9/13 13:00～15:00	2時間	レポート可児	9	休みの連絡の仕方	仕事を休む際、家族が学校や会社を休む際の電話連絡の表現を練習する。遅刻や早退の連絡の仕方を学ぶ。上司に対する敬語での休みの連絡の仕方を練習した。	西部愛美	アビトン・フェルナンド

5	2015/9/20 13:00～15:00	2時間	大垣カトリック教会	6	学校の先生と話す	学校行事や学校に関する語彙の学習。挨拶の練習、受講者が抱えている子育ての悩みを日本語で話す活動をした。	加藤友紀、山田拓路	ジェビー・ラマダ
6	2015/9/20 13:00～15:00	2時間	レポート可児	4	買い物	数字の正しい読み方を練習し、それを応用した買い物の会話を練習する。 コンビニ等接客業をしている者には正しい日本語で接客できるよう練習した。	西部愛美、赤坂唯	アビトン・フェルナンド
7	2015/9/27 13:00～15:00	2時間	大垣カトリック教会	3	働くこと	過去の職業での体験やこれからの夢について日本語で話す。仕事に対する考え方や希望職種につくための具体的な行動を日本語で話し合う。	加藤友紀、赤坂唯	ジェビー・ラマダ
8	2015/9/27 13:00～15:00	2時間	レポート可児	7	郵便局	母国へ荷物を郵送する際、郵便局での手続きの仕方や、銀行での会話を練習する。実際に困った場面も聞き出し練習した。	西部愛美、山田拓路	アビトン・フェルナンド
9	2015/10/4 13:00～15:00	2時間	可児市福祉センター	3	漢字学習・子どもの母語教育など	漢字学習教材を見比べ自分に合った物を探す。子どもの母語教育に対する考え方を語り合う。他に、日本人と話す機会を得るための行動や、日本人である配偶者の両親と話すときの悩みについて日本語で語り合う。	西部愛美、赤坂唯	アビトン・フェルナンド
10	2015/10/11 13:00～15:00	2時間	大垣カトリック教会	4	病院	症状を日本語で伝えられるようにする。医師からの指示が理解できるようにする。	加藤友紀、赤坂唯	ジェビー・ラマダ
11	2015/10/18 13:00～15:00	2時間	可児聖三一教会	4	学校行事	学校への休みの連絡の仕方と必要性を学習、学校行事の内容やそれぞれの日本語の意味を理解する。授業参観や運動会、など学校の1年で行われる行事について学ぶ。	西部愛美、赤坂唯	アビトン・フェルナンド
12	2015/10/24 15:00～17:00	2時間	ハイタウン瑞穂	10	オリエンテーション1	自己紹介、授業の説明とレベルチェック、アンケート、意識調査を行った。(計3回、対象者別)	赤坂唯	ジェビー・ラマダ
13	2015/10/24 17:00～19:00	2時間	ハイタウン瑞穂	8	オリエンテーション2	自己紹介、授業の説明とレベルチェック、アンケート、意識調査を行った。(計3回、対象者別)	赤坂唯	ジェビー・ラマダ
14	2015/10/25 18:00～20:00	2時間	ハイタウン瑞穂	8	オリエンテーション3	自己紹介、授業の説明とレベルチェック、アンケート、意識調査を行った。(計3回、対象者別)	赤坂唯	ジェビー・ラマダ
15	2015/11/14 15:00～19:00	4時間	可児市福祉センター	36	日本のお弁当作り	自分の子どもの名前をひらがな・カタカナで書く練習。フィリピンにはお弁当を学校へ持ってくる文化が無いため、何を持ってきてよいかわからない保護者のために、見た目と栄養を考えた日本の子ども用のお弁当作り。	西部愛美、赤坂唯、安田理恵	アビトン・フェルナンド、渡辺幸子、尾崎メレー・サルナ
16	2015/11/15 10:00～12:00	2時間	ハイタウン瑞穂	33	自己紹介	雛形に沿った日本語で自己紹介。今後の授業展開について説明。	大野旬子、赤坂唯、小森美佐子	ジェビー・ラマダ
17	2015/11/22 10:00～12:00	2時間	ハイタウン瑞穂	27	ゴミの分別	瑞穂市でのゴミの分別の仕方の説明、捨て方のわからないものをどこに、どのように尋ねるかを学習し、ロールプレイで練習した。	大野旬子、赤坂唯、山田拓路	ジェビー・ラマダ、ダグド・ジャンラウリー
18	2015/11/29 10:00～12:00	2時間	ハイタウン瑞穂	21	薬局	薬局での薬の探し方。頭痛、風通、目薬などの種類と家族の誰が飲むのかなどを伝えられるよう練習し、実際に薬局へ出かけ店員に協力してもらい、商品を買う真似をした。	大野旬子、赤坂唯、小森美佐子	ジェビー・ラマダ、ダグド・ジャンラウリー
19	2015/12/5 14:00～16:00	2時間	可児市福祉センター	4	年賀状	干支の勉強、年賀状の書き方、送り方、日本の正月を学んだ。実際に日本語で年賀状を書いた。	西部愛美、赤坂唯、山田拓路	アビトン・フェルナンド
20	2015/12/5 15:30～17:00	1.5時間	可児市福祉センター	13	マイナンバー	市役所職員を招き、マイナンバーについて、英語で説明を受け、「氏名、電話番号」などの漢字の意味を学習した。 (上記年賀状クラスが終わってから赤坂、西部は合流)	可児市役所通訳、西部愛美、赤坂唯	アビトン・フェルナンド
21	2015/12/5 17:00～18:00	1時間	可児市福祉センター	13	交通安全	可児警察の方を招き、夕暮れ以降の運転について。法律改正後の自転車の走行上での注意について説明を受けた。 地震の際の身の守り方、避難場所の確認を行い、110、119のかけ方を学んだ。	可児警察署、赤坂唯	アビトン・フェルナンド
22	2015/12/6 10:00～12:00	2時間	瑞穂市図書館 本館	13	図書館	瑞穂市図書館へ出かけ、貸し出しカードを作り、借り方を教わった。館長より館内の案内を受け、利用の仕方を学んだ。	図書館館長、大野旬子、赤坂唯、小森美佐子	ジェビー・ラマダ、ダグド・ジャンラウリー
23	2015/12/13 10:00～12:00	2時間	ハイタウン瑞穂	18	病院	eラーニングを使用し、病院の受付の映像を見たあと、病気にどこに何科に行けばよいのかを学習した。	大野旬子、赤坂唯、小森美佐子、山田拓路	ジェビー・ラマダ、ダグド・ジャンラウリー
24	2015/12/20 10:00～12:00	2時間	ハイタウン瑞穂	15	振り返り、地域住民との交流、子育て支援施設の利用の仕方	年内学習の振り返り。瑞穂市の子育てサポーターを招き、利用方法の説明と、入会手続きを行い、会員との交流を図った。	大野旬子、赤坂唯、小森美佐子、山田拓路	ジェビー・ラマダ、ダグド・ジャンラウリー
25	2016/1/9 15:00～17:00	2時間	可児聖三一教会	13	餅つき	餅つき体験。餅つきの仕方やあんこの種類を知り、初めて雑煮を食べるなど親子で日本の正月の文化に親しんだ。	西部愛美、山田拓路、赤坂唯	兼松厚志
26	2016/1/10 10:00～12:00	2時間	瑞穂市民センター	15	学校	牛牧小学校の教頭先生を招き、学校のシステムの説明や、保護者からの質問を受け付けた。	大野旬子、赤坂唯、小森美佐子、山田拓路	ジェビー・ラマダ
27	2016/1/10 15:30～17:30	2時間	可児聖三一教会	7	餅つき	餅つき体験。餅つきの仕方やあんこの種類を知り、初めて食べる雑煮など日本の文化に親しんだ。	山田拓路、赤坂唯	

28	2016/1/17 10:00～12:00	2時間	瑞穂市民センター	7	AED講習	日赤病院より、指導員を派遣してもらい、AEDの使い方を学ぶ。AEDのある場所や、日本人への助けの求め方、救急車の呼び方を学んだ。	日赤病院派遣講師、大野旬子、赤坂唯、小森美佐子、山田拓路	田中ロイ、ジェビーラマダ
29	2016/1/24 10:00～12:00	2時間	ハイタウン瑞穂	12	119番のかけかた、市役所、学校の休みの連絡	前回習った119番のかけ方の復習、市役所の課の種類の勉強、受付での訪ね方、学校への休みの連絡の仕方を学習した。	大野旬子、小森美佐子、山田拓路、赤坂唯	田中ロイ、ジェビーラマダ
30	2016/1/30 14:00～17:30	4時間	可児市福祉センター	5	節分、恵方巻き作り	節分、という行事について知り、豆まきを行う。地域の偏り、恵方巻きの作り方を教わり、作って食べる体験をする。	西部愛美、赤坂唯、柴田登美子、安田理英、山田拓路	
31	2016/1/31 10:00～12:00	2時間	ハイタウン瑞穂	13	ひらがなチェック、市役所窓口での訪ね方	最初と今でどれくらいひらがなの読み書きが出来るようになったかをチェック。前回の復習をし、市役所の窓口での訪ね方をもう一度練習した。	大野旬子、小森美佐子、山田拓路、赤坂唯	田中ロイ、ジェビーラマダ
32	2016/2/7 10:00～12:00	2時間	ハイタウン瑞穂	9	振り返り、シンポジウムに向けての準備	シンポジウムに向けて、学習した内容を振り返り、ロールプレイの練習をした。	大野旬子、小森美佐子、山田拓路、赤坂唯	田中ロイ、ジェビーラマダ
33	2016/2/14 9:00～12:00	3時間	瑞穂市民センター	30	文化交流	岐阜県剣詩舞のグループにお越しいただき、剣舞の披露、武士道について説明して頂、茶道体験も行った。フィリピン伝統舞踊も披露し文化交流を行った。	大野旬子、小森美佐子、山田拓路、赤坂唯	田中ロイ、ジェビーラマダ
34	2016/3/12 13:00～15:00	2時間	可児聖三一教会	14	就学前質問会	今遠北小学校の多文化共生担当の先生をお招きし、就学にあたり抱えている保護者からの質問にお答え頂いた。	西部愛美、赤坂唯	尾崎メレーサルナ
35								

(7) 特徴的な活動風景(2～3回分)

活動例①

【第22回2015年12月6日】

瑞穂市図書館へ訪問。全員が初めて図書館を利用すると良い、その利用方法やシステムについては全く知識がなかった。館長さんよりわかりやすい説明をして頂いた後、貸し出しカードを実際に作り、館内を案内して頂いた。英語の本が置いてあったり、児童書コーナーには優しい日本語の本もあるため、皆興味を持っていた。最後に好きな本を1冊選び借りる練習をした。英語で書かれた日本料理の作り方の本屋、子どもに読んで聴かせるため絵本を借りる人、簡単な日本語で書かれた日本の名産品が乗った本など思い思いに手に取り、受付カウンターでは日本人スタッフとの会話にも挑戦した。また、返却方法も学び、後日各自で返却をしに行った。

終わりに図書館に当てた手紙を母語で書き、こちらで翻訳して図書館スタッフへ渡した。

フィリピンでの図書館は日本とは全く違うと良い、日本の図書館は静かで、きれいで、皆丁寧に対応してくれるためこれからたくさん利用したいという感想があがった。



活動例②

【第33回 2016年2月14日】

岐阜県剣詩舞グループ桔梗館の皆様にお越しいただき、文化交流を行った。武士や侍についてご説明いただき、日本刀や扇子を使った舞を披露して頂いた。その後実際に袴を着せていただいたり、日本刀に触ってみたいなどした。代わりに、フィリピンの伝統的なダンスを披露し、互いの文化を楽しみあった。

また、茶道の体験も行い、和菓子とともに抹茶をいただくと、苦そうに見えたが、とても美味しいという感想であった。



(8) 目標の達成状況・成果

地域の日本人とのふれあいを持つ機会を多く取り入れることも目的としていたため、日本語を使い日本人を話す機会が多く持てたため、受講者たちの自身に繋がった。ひらがなで自分の子供の名前が掛けるようになったり、正しい文章で学校の先生や仕事の城趾に早退や休みの連絡を入れることが出来るようになったことをとても喜んでいる。文字の読み書きは重点的に指導を行わなかったが、宿題として出し、授業の中で何度も目にする事で、初回はほぼ読み書きが出来なかった受講者も、最終回では50音のひらがな全てを書けるようになった者も数名いた。

(9) 今後の改善点について

大垣市の教室は時間の設定が悪く、徐々に受講者が減ってしまったため、時間や日程の設定をより考えるべきであった。

市民センターや公民館などで行う場合、車など移動手段がない受講者は来ることが出来なかった。瑞穂・可児の途中の回からは送迎を行ったが、初回から送迎を行った方が良かった。

市役所へ実際に行き、窓口でのやりとりの仕方を練習したり、市役所の職員を招いてロールプレイを行いたかったが、クラスが土日の開催のため協力を得られなかった。市役所との関係を密にし、協力を得られやすい体制を早いうちからとっておくべきであった。

取組3：行政とともに「町を知ろうツアー」～在住地域を知り、日本語学習につなげよう～

(1) 体制整備に向けた取組の目標

日本語教室に通わず、地域社会から孤立を深める外国人労働者及びその家族に対し、行政担当者を巻き込み、自分たちの暮らす地域の歴史、文化施設や行政サービスについて知ることでの親しみを感じ、親子で楽しく生活できる地域であることを知らせ、日本語教室及び支援団体に繋げることを目指す。
地域住民のより多くの参加協力を得て、外国人生活者家族が地域とつながりをつくるきっかけとする。

(2) 取組内容

可児市役所の人づくり課、こども課、観光交流課、地域団体などと連携し、可児市内を巡るバスツアーを開催した。2回開催で、概ねコースは同じだが、子どもと共に楽しめる施設をピックアップし、大型バスで各地をめぐる。金山城趾、兼山歴史資料館では地域の観光案内ボランティアに歴史についての説明や場所の案内をして頂いた。地域にある児童館は利用の仕方がわからないため外国人がほぼ利用していない状況にあったため、館長に利用の仕方や注意事項などを説明して頂き、絵本などの読み聞かせを実際に行ってもらった。児童館へは、今後外国人利用者が訪れた際、名簿の名前欄や地域などの書き方についてわかりやすく説明してもらえるよう頼んだ。ゴミ処理場では映像や写真などを通して、エコについて考えたリリサイクルの仕方を学んだ。ヤイリギターでは、ギターの製造風景の見学や施設の案内、演奏などを楽しんだ。

(3) 対象者

可児市、美濃加茂市およびその周辺に住む外国人親子

(4) 参加者の総数 21 人(延べ人数ではなく、受講した人数を記載すること。)

そのうちの日本語学習者数 21 人

【出身・国籍別内訳】

中国	人	インドネシア	人	
韓国	人	タイ	人	
ブラジル	人	ペルー	人	
ベトナム	人	フィリピン	21人	
ネパール	人	日本	人	

(5) 開催時間数(回数) 12 時間 (全 2 回)

(6) 取組の具体的内容

回数	開催日時	時間数	場所	参加者数	取組のテーマ	授業概要	指導者名	補助者名
1	2016/2/20 9:00～15:00	6	金山城趾、兼山歴史資料館、広見児童館、ささゆりクリーンパーク	11	地域に親しみを持ち、子どもと共に遊べる施設をしよう	金山城趾、資料館ではその歴史や活躍した人物について説明を受けた。広見児童館では利用の仕方やルールの説明を受けた。ゴミ処理場では見学のほか、宿泊施設やガラス工芸体験が出来ることも案内し、今後も利用できるように案内した。	西部愛美、赤坂唯、山田拓路	田中ロイ
2	2016/2/27 9:45～15:45	6	ヤイリギター、広見児童館、金山城趾、兼山歴史資料館	10	地域に親しみを持ち、子どもと共に遊べる施設をしよう	ヤイリギターにて工場見学を行った。金山城趾、資料館ではその歴史や活躍した人物について説明を受けた。広見児童館では利用の仕方やルールの説明を受けた。	西部愛美、赤坂唯、山田拓路	田中ロイ
3								
4								
5								

(7) 特徴的な活動風景(2～3回分)

活動例①

【第1回 2016年2月20日】
大型バスを手配し、子どもとともに参加できるようにした。金山城趾、兼山公民館では地域の観光案内ボランティア「お守り隊」の方々より歴史や当時活躍した人物などについて説明を受けた。歴史資料館では甲冑を着る体験も行った。広見児童館では、利用案内の説明を受けた。利用の際記入する用紙は難しいため、児童館の方に外国人が来た時には簡単に説明してもらえるよう頼み、参加者たちにも分かる範囲で書くよう説明した。また、模擬体験とし絵本の読み聞かせを受けた。ささゆりクリーンパークでは、リサイクルについて学んだり、宿泊施設やものづくり体験ができる事を案内した。



活動例②

【第2回 2016年2月27日】

可児市が世界に誇る名産ヤイリギターの工場見学を行った。ギターの製造や保管、販売を見学し最後に特別にライブ演奏を行って頂いた。広見児童館では第1回と同じよう、説明を受け絵本の読み聞かせを受けた。幼児を連れた参加者もいたが、全員の希望で金山城趾を頂上まで登りながら随所で説明を受けた。歴史資料館でも説明を受けながら、当時の鎧や硬貨などをみて歴史を学んだ。



(8) 目標の達成状況・成果

市役所との連携を密に行い、発足したばかりだという金山城趾の案内ボランティア(お守り隊)を活用したり、こども課を通して児童館の見学を行うことが出来、地域と連携を図ることが出来た。参加者は自分の住む地域について今まで以上に興味を持つようになった。

それぞれの箇所を短い時間でめぐったため、参加者はプライベートで家族と共にゆっくり見に来たいと話していた。特に、金山城趾はさくらの季節には祭りがあったり、バーベキューが出来たり、ヤイリギターではギターが購入できることを知ると、友達を誘って出かけたいと話していた。また児童館も積極的に活用するため、利用案内やチラシを持ち帰る参加者もいた。

(9) 今後の改善点について

時期や転校を考慮すべきであった。金山城趾に登る予定だったが、1回は雨で登ることができなかった。屋根のある場所で説明を受けたが、2月に屋外で長時間説明を受けるには気温が低く、プログラムを前倒しせざるを得なかった。市役所と相談しながら子どもと楽しめる施設をピックアップしたが、可児市には図書館や美術館などがなく、選べる箇所が少なかった。隣の美濃加茂市なども含め巡るほうがよかった。地域の日本人参加者も多く募るべきだった。行く先々で日本人との交流はあったが、参加者として日本人が居たほうが、車内での会話がもう少し出来たかもしれない。

取組4:シンポジウム

(1) 体制整備に向けた取組の目標

当事業を行うに至った地域で孤立する外国人住民の困難と来日の背景、それに対する本事業での具体的な取組を発信することで、日本で暮らす外国人の思いを地域住民や学校・行政関係者と共有し、日本語習得機会の拡充の必要性と、互いに協力しあって生きる地域にしていくための課題を行政関係者と共有する。
また、外国人住民には、各取組において学んできたことを振り返り、有識者や先輩住民からフィードバックすることで更なる向上と、今後の課題発見とそれに取り組む意欲を持つことを目指す。

(2) 取組内容

当事業で取り組んだ内容を地域の住民や行政関係者へ発表した。
スライドで、写真を使いながら各地域での授業の振り返りを行った。
各取組に関わった日本人生活者を招き、今まで取り組んだ内容を発表した。
瑞穂市では、受講者が複数グループに分かれ、それぞれゴミの分別の仕方、市役所での訪ね方、病院の受診の仕方などをロールプレイ形式で発表した。その後、シンポジウムに参加した日本人も交え、昼食をとりながら交流の時を持った。
可児市では、スライドで事業を紹介した後、各取組の受講者と、それに関わった地域住民との交流会を催した。

(3) 対象者

・取組2、3の外国人参加者、岐阜市、大垣市、瑞穂市、可児市、美濃加茂市およびその周辺に住む日本人生活者

(4) 参加者の総数 52 人(延べ人数ではなく、受講した人数を記載すること。)

そのうちの日本語学習者数 41 人

【出身・国籍別内訳】

中国	人	インドネシア	人	
韓国	人	タイ	人	
ブラジル	人	ペルー	人	
ベトナム	人	フィリピン	41人	
ネパール	人	日本	11人	

(5) 開催時間数(回数) 4 時間 (全 2 回)

(6) 取組の具体的内容

回数	開催日時	時間数	場所	参加者数	取組のテーマ	授業概要	指導者名	補助者名
1	2016/2/21 10:00～12:00	2	ふれあい福寿会館	25	シンポジウム	参加者が今まで取り組んできた内容について発表、それに対する日本人生活者からの公評	大野旬子、小森美佐子、赤坂唯、山田拓路	ジェピー・ラマダ
2	2016/2/28 13:00～15:00	2	可児聖三一教会	27	シンポジウム	スライドで写真を使いながらこれまでの取組の発表、日本人生活者やこれまで関わった方からの公評	西部愛美、赤坂唯、山田拓路	ジェピー・ラマダ
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								

(7) 特徴的な活動風景(2～3回分)

活動例①

【第1回 2016年2月21日】

スライドで事業説明やこれまでの事業内容を参加した報告。

これまでおもに瑞穂市の子育て日本語クラスにて学習してきた受講者たちが成果を発表した。複数のグループに分かれ、日本人と1対1の自己紹介の場面、ゴミの分別を電話で尋ねる場面、医者にかかった時の場面、等を想定して日本語で話すロールプレイを見せた。

また、皆勤賞に近い者を表彰するなどして、今までの成果を讃え、今後自己で日本語学習を頑張れるようエールを送った。



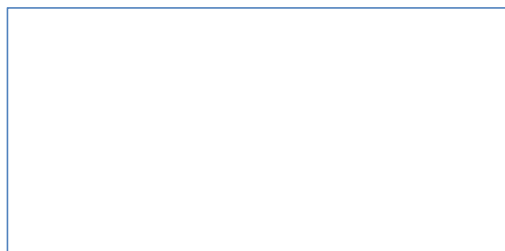
活動例②

【第2回 2016年2月28日】

これまで関わった日本人にお越しいただき、スライドで写真を見ながら授業を振り返った。また、可児市以外で行った教室の様子も説明し、受講者たちの日本語の勉強に対する意欲を更に高めた。

シンポジウムの参加者が交流できるよう、ご飯を持ちよるなどして、それぞれの国の料理を楽しんでもらった。また、授業の中でもちつきをしたため、この日も日本人参加者が手作りの餅をもってきてくださり、いただきながら授業を思い出すこともできた。

(写真撮り忘れのため添付なし)



(8) 目標の達成状況・成果

瑞穂市の教室のシンポジウムでは、瑞穂市市役所の秘書広報課の方にもお越しいただくことができ、活動の成果を広報誌に載せてもらえることになった。地域住民に少しでも外国人が日本語を勉強している、興味を持っているという姿を見て頂く良い機会となった。

それぞれのシンポジウムでもう片一方のクラスの話をする、やってみたいという声が多く上がった。

この事業を通し日本に興味を持つことは十分出来、学習の意欲も高まったようである。

(9) 今後の改善点について

シンポジウムの開催日程を決めるのが遅く、あまり広い範囲の方々に声がけを充分にすることができなかった。

来たくても既に先約があり来られないという状態の方もいたため、日程を早めに決めるべきであった。

可児市のシンポジウムでは、受講者がなにかを発表するという場面が無かったため、成果がいまいち目に見えにくかったかもしれない。なにかを形にして発表すべきであった。

8. 事業に対する評価について

(1) 事業の目的・目標

外国人生活者が子育てに必要な日本語を習得し、また地域資源に積極的に関わることを通して、日本人生活者と共に、子育てのしやすい地域づくりを進める。そのために複数の市町の行政、国際交流協会、地域の支援団体と連携し、日本語教育の体制整備を推進することを本事業の目的とする。

(2) 目的・目標の達成状況

子育て日本語クラスを通して、学習者が実際に日本語を使える場面が増えた。市役所で日本語で住民票を取りに行ったり、薬局で薬が買えたりと、習ったことを生かせる場面が多くあった。また、図書館の利用方法を習ったことでその後利用する者も出てきた。瑞穂市の子育てサポーターと繋がったことで、4月から利用し始めようと登録した者が数人いる。それにより、受講者たちは子どもを一人で留守番させずに仕事をするなどできるようになる。日本文化にも多く触れたことで、日本への興味が更にわき、もっと知りたいという声が多く上がった。最終回では、ひらがながどのくらい書けるようになったか、これまで習ったことをどのくらい活かせたかなどの調査を行った所、初回では数文字しかひらがなの読み書きが出来なかった者も、50音全ての読み書きが出来ようになっていたり、先述の通り生活の中で行かせていることがわかった。市役所や警察、地域団体と連携したことで、それぞれに外国人生活者のニーズを伝えることができ、子育てサポーターには今後フィリピン人用にタガログ語に翻訳した入会案内を使ってもらえるようお願いした。市役所とバスツアーを行ったことで、外国人向けのツアーの仕方や観光地のパンフレットの翻訳なども検討してもらえることになった。案内ボランティアには外国人にもわかりやすいような簡単な説明も用意してもらえるよう図ることが出来た。多くの日本人とか変わることもでき、地域に外国人がたくさんおり、日本語を学びたい、日本人と関わりたいと思っていることを地域の方々に知っていただくことが出来た。

(3) 地域における事業の効果、成果

瑞穂市には日本語を学べる教室が少ない、という課題がまずは取組2日本語クラスを行うことにより解消され、病院に行った際の症状の伝え方や、学校への休みの連絡の仕方などを学び出来るようになった。取組2、3において地域と連携し日本人とたくさん関わったことで、外国人でも図書館や児童館などの施設が利用しやすいよう、それぞれの期間絵やさしい日本語での対応などを願うできた。取組1検討会議を通して、取組2子育て日本語クラスの受講者が来年度以降通室出来るクラスも探すことが出来、この事業を終了しても、受講者の学習環境は保たれるようになった。

(4) 地域の関係者との連携による効果、成果

可見市役所と連携し、バスツアーを行ったことで、外国人に自分の街を知り、好きになってもらうためにはどうしたら良いのかを考えることが出来た。それにより、観光地には外国語に翻訳したパンフレットを置いたり、案内ボランティアには外国人にもわかりやすい簡単な日本語で説明してもらったりする必要があることがわかり、改善にむけて動くことが出来た。瑞穂市ファミリーサポーターと連携したことで、「子どもがいるから」という理由で日本語学習や仕事に行くことを諦めていた受講者たちも、活動しやすくなった。

(5) 事業実施に当たっての周知・広報と、事業成果の地域への発信等について

・参加者への周知・広報にどのように努めたか。特に工夫した点や効果があった点など。事業成果の地域への発信をどのように行ったか、行う予定かを記載してください。
参加者にはコミュニティーリーダーを通して伝えていただいたり、Facebookページを設けたり、チラシを作成して配るなどをして広報した。また、外国人が多く集まる場にでかけ、宣伝などを行った。
事業成果はFacebookページや当団体ブログ、新聞などを通して発信した。

(6) 改善点、今後の課題について

・本年度の事業で地域の日本語教育の体制整備はどの程度進めることができたか、次の①～③について記載してください。
①地域の住民や市役所、警察、図書館、児童館、など公共施設の方も
②当初予定していた美濃加茂市、坂祝町での体制整備がいまいち行うことが出来なかった。外国人は多く住んでいるが、日本語教育の場が少ないことが課題である。
③本事業で関わることの出来た地域団体と今後も連携を深めていく予定である。日本語学習者たちから、授業の継続を望まれているため、次年度は自己財源で行うか、他団体の行う日本語教育の場を知らせるなどして、学習機会が得られるよう協力している。

(7) その他参考資料